

応用バイオ科学科3年目スタート

応用バイオ科学科の3年目がスタートしました。1年生のオリエンテーションは、入学式前の4月1日から、コンピュータ・リテラシー入門講座が始まりました。特に前期は慣れない環境で緊張気味の学生も多いようですが、一日でも早く大学生活に慣れてくれればと思います。そんなオリエンテーション期間中、第一食堂で恒例の新入生歓迎会（第二回縦コン）を行いました。急な連絡にもかかわらず多数の2、3年生も元気な姿を見せてくれました。ぜひ、先輩と良い縦の関係も築いて欲しいと考えています。準備・司会等を行ってくれた2年生、ありがとうございました。



ホームページをリニューアル

4月より応用バイオ科学科のホームページ（HP）を全面的にリニューアルしました。各学年の学生への重要事項のお知らせ、学科の紹介、各教員のページのみならず、実験の様子や行事の折りに情報を発信するBio Blog、写真の閲覧など、タイムリーにアップしていきます。また新着情報がある場合、自動的に配信される機能もあります。保護者の方々のご意見も頂き、より充実したHPを作っていきたいと考えております。ぜひ、ご覧ください。

HPアドレス：http://web.mac.com/bio_kait/（本学のHP：<http://www.kait.jp/>からも入ることが出来ます）

1年生 フレッシュマンズキャンプ

1年生はオリエンテーション期間の締めくくりとして、一泊二日の日程でフレッシュマンズキャンプに出かけました（白子温泉）。ホテル到着後、全体会、食事、クラス別懇親会、履修相談会と結構ハードなスケジュールでした。クラスに分かれての懇親会では自己紹介を行い、友達の輪が広がったように感じられました。また2、3年生の先輩（総勢12名）もアシスタントとして参加し、履修相談会では大活躍でした。二日目は、お台場で日本科学未来館と産業技術総合研究所（産総研）臨海副都心センターを見学し、最先端の医薬品設計に関する講演を聴きました。コンピュータシミュレーションが医薬品の開発現場で果たす役割、その場合にどのようなことを考える必要があるかなど、非常に有意義なもので「バイオ」に関する見方も広がったのではないのでしょうか。お疲れ様でした。



日本科学未来館の見学



宿泊先の白子温泉での夕食

1年生 バイオ基礎実験

バイオ基礎実験は、1年生が本学科に入ってから最初に行う必修実験科目です。その第一回目（4月12日）の実験が行われました。実験は、微生物の顕微鏡観察で、肉眼では見えないバクテリア（大腸菌と枯草菌）にグラム染色を行い観察します。顕微鏡のピントを合わせるのに苦労した学生もいましたが、経験豊富な先輩学生のアドバイスもあり、全員が見事観察できました。観察した画像は実験室でコンピュータに取り込み、レポートや前期末に行われる口頭発表で使用します。顕微鏡観察について有機合成基礎実験や環境分析基礎実験を行います。



3年生 バイオ実験Ⅳ

3年生の前期は学部最後の必修実験科目が2つあります。そのうちの一つ「バイオ実験Ⅳ」が始まりました。実験では、大きく3つのグループに分かれて、免疫測定法により血液型物質を検出したり、ラットから採血し分析を行ったり、食品を作ってその物性と味の関係を評価したりと、これまで以上に専門的かつ実践的な内容になっています。1時限目から4時限目まで6時間以上という長時間にわたる実験で、来年度の研究室生活も少しは実感できるのではないのでしょうか。「バイオ実験Ⅳ」について「機器分析実験Ⅱ」もスタートします。締めくくりは、自分たちでテーマの設定・準備・実験・発表を行う「自主テーマ研究part Ⅱ」です。



先輩学生（2、3年生）の実験での活躍

1、2年生の実験では、先輩学生にアシスタントとして積極的に参加してもらっています。実験の準備、実験当日のアシストはもちろんですが、最近希薄になりがちな先輩・後輩といった縦の繋がりの強化、さらにはリー

ダーの育成ということにも役立つことが出来ればと考えております。参加している学生からも「アシスタントで入ることで改めて実験内容への理解が深まった」との感想をもらっています。今年は日程の都合、バイオ基礎実験（1年生）の一部を土曜日に行うことになったにもかかわらず、多数の2、3年生が参加しました。私たち教職員にとっても頼れる戦力です。

バイオサイエンスセンターに最新分析機器続々導入

応用バイオ科学部棟5階のバイオサイエンスセンターには最新鋭の分析機器が続々と導入されています。導入に伴い使用に際しての講習会も開かれています。細胞の代謝や酵素の活性、遺伝子の発現やシグナルトランスダクションの解析、生体活性物質の細胞内での動態解析、細胞表面解析など、バイオテクノロジーの研究を進める上で極めて強力な威力を発揮する装置ばかりです。学生の皆さんが卒業研究でこれらの機器を駆使して、最先端の研究を行うのも目前です。楽しみにしてください。

主な機器：DNAシーケンサー、リアルタイムPCR、共焦点レーザー顕微鏡、走査型プローブ顕微鏡、蛍光実体顕微鏡、フローサイトメーター、マイクロプレートリーダー、FT-IR、イオンクロマトグラフィー、ICP など



教職員第三回研修会「応用バイオ科学科はFamily」

3月26日、27日の二日間、伊豆長岡にて本学科教職員の研修会を行いました。研修室に一日半缶詰状態で、学生のアンケート結果、教育内容、入試状況、応用バイオ科学部新設・・・これまでの二年間を新学科設立

時の目標と照らし合わせながら振り返り、3年目の課題を確認しました。学科新設から掲げた「応用バイオ科学科はFamily」のもと学生と一緒に頑張っていこう！と再確認しました。

海外バイオ研修Ⅰ

2月半ばから1ヶ月間の日程で、米国シアトルのサウスシアトル・コミュニティカレッジで海外バイオ研修Ⅰが行われました。一回目の昨年に続いて今年も4名の学生が参加しました。この一ヶ月間はホームステイで現地に滞在し、3週間の英語研修の後にはELISA、DNAの電気泳動、解剖などの1週間のバイオ実験研修です。もちろん実験も指導に当たるマーク先生のもと、全て英語で行われます。当初緊張気味だった学生も日が経つにつれ本領を発揮しはじめ、最終日の解剖実験では、マーク先生の「もうそろそろ終わりにしよう」の言葉も無視し、鮮やかなメス裁きを披露していました。最終日の修了式では、全員が修了証書进行い、無事に帰国しました。海外バイオ研修の発表会は5月末に行われます。また、応用バイオ科学科ではマーク先生を8月に日本へお呼びし、海外バイオ研修さながらのセミナーの開催を予定しています。学生の皆さん、ぜひ参加してください。

